

家庭用品品質表示法による「法定品質表示」について

ハリオの耐熱ガラス製器具には、すべて「法定品質表示」がなされています。
用途によって『熱湯用』『電子レンジ用』『直火用』『オープン用』等の
使用区分があり、それぞれ取扱いの上で違いがあります。
ご使用に際しては下記のような「法定品質表示」を充分お確かめください。

耐熱ガラス (ハリオエ32)	<p>熱湯用 耐熱温度差：120</p>  <p>熱湯が使えます 熱湯用</p>	<p>調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。 使用区分以外には使用しないで下さい。</p>
	<p>電子レンジ用 耐熱温度差：120</p>  <p>電子レンジで使えます 電子レンジ用</p>	<p>調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。 空だきをしないで下さい。 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。 使用区分以外には使用しないで下さい。</p>
	<p>オープン用 耐熱温度差：120</p>  <p>オープンで使えます オープン用</p>	<p>調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。 空だきをしないで下さい。 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。 使用区分以外には使用しないで下さい。</p>
	<p>直火用 耐熱温度差：150</p>  <p>直火で使えます 直火用</p>  <p>IH調理器で使えます IH調理器用</p>	<p>火にかける時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。 洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。 突然一気に沸騰して湯が激しく吹き出す恐れがあるので、加熱中は顔などを近づけないで下さい。 加熱器具の中心に置き、必ず弱火で使用して下さい。 使用区分以外には使用しないで下さい。</p>
超耐熱ガラス	<p>直火用・オープン・電子レンジ用 耐熱温度差：400</p>	<p>洗う時は、研磨材入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。 突然一気に沸騰して湯が激しく吹き出す恐れがあるので、加熱中は顔などを近づけないで下さい。 加熱器具の中心に置き、必ず中火か弱火で使用して下さい。 使用区分以外には使用しないで下さい。</p>

耐熱温度差とは？

ガラスの部分を試料として、一定の温度に定めた恒温器の中に30分間保持した後、取り出して直ちに冷水中に1分間浸した時にその試料が破損しない温度差を表します。この場合の恒温器内の温度と冷水の温度差は、直火用は150以上、直火用以外のものは120以上と定められています。ハリオの耐熱ガラスは、品質表示法で定められている耐熱温度差を上まわる高品質品です。